

合瀬地区西川大橋



- | | |
|------|--|
| 発注者 | 群馬県 |
| 形式 | 3径間連続鋼床版箱桁橋(内、1径間分の施工) |
| 橋長 | 320.0m (支間長 : 99.2m+130.0m+89.2m) (内、99.2m 分の施工) |
| 有効幅員 | 6.500m |
| 鋼材重量 | 1250t(内、452t分の施工) |
| 架設工法 | トラベラクレーンベント工法(横引き併用) |
| 完工 | 平成16年3月 |
| 特徴 | ・当社施工の1径間は路面線形が曲線となっていること、および桁下地形が急峻な斜面となっていることからベント設置位置が制限された。そこで正規の架橋位置の横にベントを設置し、トラベラクレーンで架設した(写真下左)後、トラベラクレーンを搭載したまま正規の位置に横引きを行った。 |